

令和5年度 富士見市民大学公開講演会

推進のトップがえがく SDG s の未来図

主催：NPO 法人富士見市民大学

協力：富士見市教育委員会

日時 令和5年12月2日（土） 13:30～15:30

場所 鶴瀬公民館第三集会室

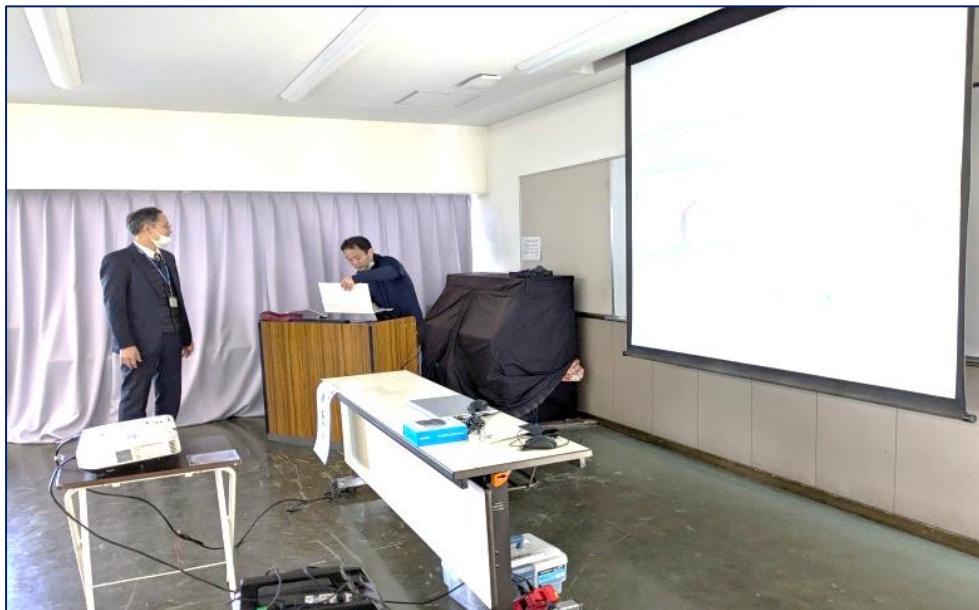
講師 一般社団法人日本 SDG s

協会代表理事 堤 晶子氏

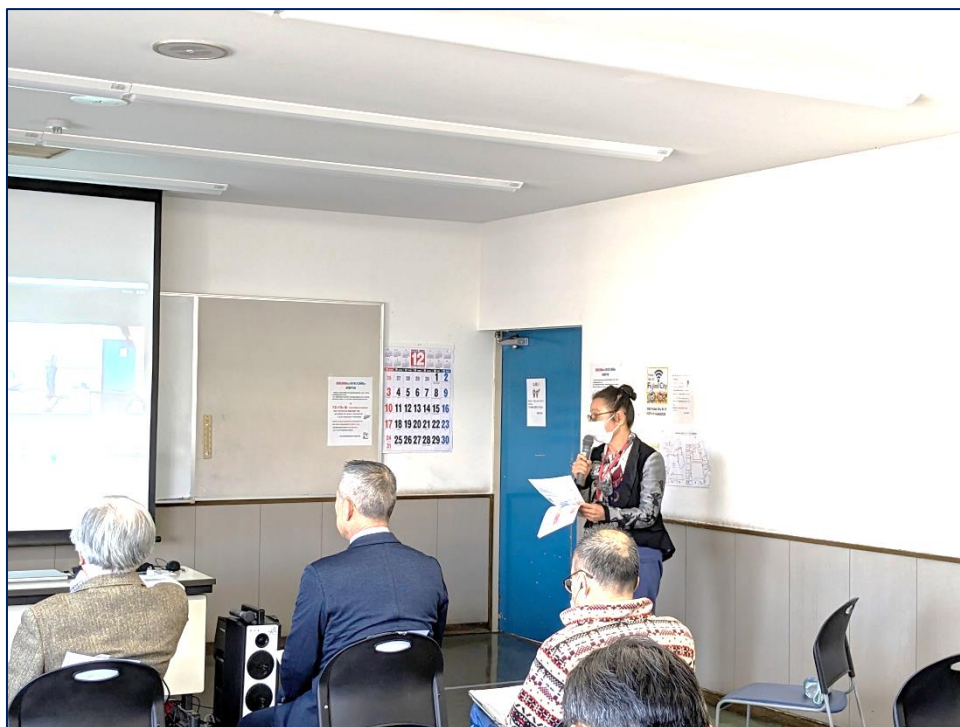
参加者 28名



- はじめに、開催形式が講師 堤 晶子氏が不慮の事故に遭遇された為、急遽通常の講演会形式から講師のオンライン・リモート講演会形式に変更されました。



システム変更に準備万端調整する公民館中田館長と公民館職員



富士見市民大学担当理事 出井あや子氏司会による講演会開催宣言



富士見市民大学理事長 瀬戸篤氏挨拶

○



来賓富士見市教育長 山口武士氏挨拶

○ SDG s を達成する上での主要ポイントの解説から対話形式の講演が始まる



今回の講座の主要主旨

主要ポイントとは、「持続可能な開発の3つの側面」の理解であり、将来の世代のニーズを充足する能力を損なわずに現世代のニーズを充足する開発と定義されている。

持続可能な開発を達成するためには、「経済成長」、「社会的包摂」、「環境保護」という3つの主要素を調和させることが不可欠である。

- 配布された資料をもとに、講師は参加者に対し、関心のある幾つかの目標を選び、教育現場でよくみられるグループで話し合う「グループ・セッション」を提案した。



配布資料は17のロゴに代表される開発目標で、参加者はこの中から関心のある目標を抽出することで、グループ内でその理由について話し合うことがセッションの目的である。教育現場では慣れているが、この講座の参加者には戸惑いがあり、話し合いはできなかった。本来であれば、17項目の達成目標の記述を配布した方がスムーズに話し合いが進んだものと思われる。参考までに、その数値目標の記述資料を以下に添付した。

参考資料：SDGsのHPに記載されている17項目の目標

1. ■ 貧困をなくそう (英: No Poverty)
 - 「あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる」
2. ■ 飢餓をゼロに (英: Zero Hunger)
 - 「飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する」
3. ■ すべての人に健康と福祉を (英: Good Health and Well-Being)
 - 「あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する」
4. ■ 質の高い教育をみんなに (英: Quality Education)

- 「すべての人々へ包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」
- 5. ■ ジェンダー平等を実現しよう (英: Gender Equality)
 - 「ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う」
- 6. ■ 安全な水とトイレを世界中に (英: Clean Water and Sanitation)
 - 「すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する」
- 7. ■ エネルギーをみんなに、そしてクリーンに (英: Affordable and Clean Energy)
 - 「すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する」
- 8. ■ 働きがいも経済成長も (英: Decent Work and Economic Growth)
 - 「包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する」
- 9. ■ 産業と技術革新の基盤をつくろう (英: Industry, Innovation and Infrastructure)
 - 「強靱なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及び技術革新の推進を図る」
- 10. ■ 人や国の不平等をなくそう (英: Reduced Inequalities)
 - 「各国内及び各国間の不平等を是正する」
- 11. ■ 住み続けられるまちづくりを (英: Sustainable Cities and Communities)
 - 「包摂的で安全かつ強靱で持続可能な都市及び人間居住を実現する」
- 12. ■ つくる責任 つかう責任 (英: Responsible Consumption and Production)
 - 「持続可能な生産消費形態を確保する」
- 13. ■ 気候変動に具体的な対策を (英: Climate Action)
 - 「気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる」^[注釈 1]
- 14. ■ 海の豊かさを守ろう (英: Life Below Water)
 - 「持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する」
- 15. ■ 陸の豊かさを守ろう (英: Life on Land)
 - 「陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する」
- 16. ■ 平和と公正をすべての人に (英: Peace, Justice and Strong Institutions)

- 「持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する」

17. ■ パートナーシップで目標を達成しよう (英: Partnerships for the Goals)

- 「持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する」^[11]

○ 質疑応答



質問者：日本政府の取り組みは？

講師：企業や団体に行政指導というカタチで多分野に渡り目標設定を含め指導している。

質問者：削減とか撲滅とかの表現ではない、数値目標はあるか？

講師：各地域によって計測環境が違うことから、数値化することは難しい。

質問者：女性の性被害撲滅は人権問題であって、ジェンダー平等のジャンルには含まれないのでは？

講師：温暖化しかり、力による現状変更しかりで、国際的にはジェンダー平等と人権問題とはその主催団体によって別に扱われているのが現状。

< 以上 >

報告者 小原 裕